

令和8年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：34004
学校名：日章中学校

	令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果		分析
体力・運動能力 ＜男子＞	○前回の記録と同程度もしくは上回った項目 20mシャトルラン、50m走、ハンドボール投げ	○前回の記録より下回った項目 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、立ち幅跳び	保健体育科の授業を中心に体力向上に向けた取り組みによる効果が見られた。
体力・運動能力 ＜女子＞	○前回の記録と同程度もしくは上回った項目 上体起こし、反復横跳び、20mシャトルラン、50m走、立ち幅跳び、	○前回の記録より下回った項目 握力、長座体前屈、ハンドボール投げ	スピードや全身持久力、瞬発力に改善が見られるものの、筋力、柔軟性、巧緻性に課題が見られる。
運動・スポーツへの意識、運動習慣	「運動やスポーツをすることが好き」 男子 R6 R7 女子 R6 R7 78.1% 72.0% 45.9% 33.9%	「保健体育の授業が楽しい」 男子 R6 R7 女子 R6 R7 75.8% 58.5% 37.9% 23.8%	運動やスポーツが好きな生徒と保健体育の授業が楽しいと感じる生徒の割合がともに減少傾向にある。より一層授業が楽しいと感じるように、授業改善を図っていく。

三つの取組	①体育・保健体育等の授業の充実	②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組	③子どもが自ら健康の保持増進を図る取組
-------	-----------------	-----------------------	---------------------

具体的な取組	○全学年新体力テストの実施 自分の体力を把握するとともに自己の課題を明確にし、改善、向上を図れる運動を生活の中に設定する。（検証する機会を設定し、修正、発展できるようにする。） ○ICT（一人一台端末）の活用 端末を使用し、授業の記録を蓄積することにより、自己の成長や体力の向上を実感させ、次の課題へと繋がるようにする。	○体育的行事において、学級で協力して取り組む種目やニュースポーツを取り入れ、得意・不得意に関わらず、誰もが参加しやすい運動機会の充実を図る。 ○昼休み ・保体専門委員主催の大会を実施 →練習場を設置し、計画的な取り組みにつなげる。 ・特別活動室（格技場）の開放 →新体力テスト項目の測定や軽運動ができる場として開放する。 ・学年ごとに体育館やグラウンド、特別教室の開放 →ボール遊びだけでなく、ニュースポーツや縄跳び等を通して生徒の運動機会を創出する。	○栄養教諭による食育の推進 保健体育科の「食事と健康」の時間でのゲストティーチャー・食への関心を高める特別週間の設定 給食だより等を通して食への興味、関心を高め、正しい食生活への意識を高める。 ○保健体育科以外の授業で扱う、健康、身体、環境に関する内容を自己の生活と結びつけて考えられるような教科指導の工夫を図る。
--------	--	--	---

家庭・地域との連携・協働	○ 本校の新体力テストの結果や運動の様子を様々な場面で積極的に発信する。 ○ スポーツフェスティバルを保護者・地域に公開することで、子どもたちを育む地域連携を図る。
--------------	--